

〔さとうきび〕

1. 作付の概要

2009/2010年さとうきび年期の鹿児島県の収穫面積は10,282ha、前年比5.3%増で520ha拡大した。作型では春植え22.2%、夏植え15.8%、株出し62.0%であり、夏植えが1.6ポイント減少し、株出しの面積が1.5ポイント増加した。品種の構成では、最大の面積を占めるNiF8の収穫面積が62.3%でほぼ横ばいである。これ以外では、Ni17が2.9ポイント減少したほか、F177等で減少し、代わって新品種Ni22が4.9ポイント増加して12.9%、Ni23が2.1ポイント増加して6.1%となった。

沖縄県の収穫面積は12,747ha、前年比2.7%増で、前年より341ha拡大した。作型では春植え13.2%、夏植45.1%、株出し41.2%で、前年と比較すると夏植えが1.3ポイント減少し、春植の比率が1.2ポイント増加した。品種の構成では、最大の面積を占めるNi15が39.7%で2.0ポイント増加した。これ以外で栽培面積が拡大したのはNi21、Ni17で、それぞれ1.2ポイント増の3.3%、1.5%増の2.3%となった。一方、F177、NiF8、Ni9、NiTn10、宮古1号で栽培面積が減少し、宮古1号が5ポイント減の19.6%、NiF8が3ポイント減の9.1%となった。

分蜜糖工場の製糖は最も早い種子島で2009年12月1日に、最も遅い北大東島では2010年2月1日に開始された。製糖の終了日は、最も早い伊是名島で2010年3月12日、最も遅い種子島で2010年5月3日に終了した。製糖日数は製糖の開始から終了までの期間の長い種子島で154日であったが、与論島、沖縄本島北部、南北大東島および宮古島の一部では80日に満たなかった。

2. 作柄の概況

鹿児島県熊毛地域では、台風や干ばつの被害がなく順調に生育し、単位収量は前年を129kg上回る7,870kg/10aとなったが、一方で原因は必ずしも明確ではないが、主力品種であるNiF8で低糖度の傾向となり、製糖歩留まりは13.0%と前年度を0.3度下回った。奄美地域では、7月～9月に降雨が少なく、島尻マーヅ土壤の地域を中心に顕著な干ばつとなり、茎の伸長が抑制されたほか、一部には枯死に至る場合も見られた。10月7日に台風が接近し、最も近くを通過した喜界島では倒伏のほか折損被害が認められたが、一方でそれまでの干ばつ傾向が解消された。このような干ばつの影響を受け、単位収量は6,171g/10aと豊作であった前年度に比べ1152kg、15.7%減となった。甘蔗糖度は、台風干ばつの影響によって14.3%と前年度を0.6度下回った。鹿児島県全体では、原料茎の生産量は634,451tで、豊作であった前年度に比べて11.3%減少した。甘蔗糖度の県平均は13.8%で、前年を0.6度下回った。この結果、製糖歩留まりは11.9%と0.5ポイント低下し、産糖量は前年より14.9%減少し、75,253tとなった。

沖縄県本島地域では、7月～9月の降水量が少なく、地域によっては深刻な干ばつが発生した。大東島地域では、干ばつに加えて10月上旬と下旬に相次ぐ台風の襲来を受け、特に10月上旬には大瞬間風速58.9m/sを記録するなど、茎の折損と葉の裂傷を中心とする甚大な被害もたらされた。この結果、沖縄本島および周辺離島の分蜜糖向けで、春植えで単位収量が前年比27.0%減の4,605kg/10aとなるなど大きく減収し、全体では前年度を1,329kg/10a下回る5,597kg/10aとなった。糖度は14.7%と前年度を0.2度下回った。宮古・八重山を含む先島地域では、本島地方同様に干ばつが発生したが、8月に接近した台風による降雨によって、深刻な干ばつ被害には至らなかった。しかし、この台風によってもたらされた潮によって、風上側沿岸部を中心に塩害が認められた。このように、台風・干ばつともに深刻な被害には至らなかったことから、分蜜糖向けで、収量は宮古では前年度を940kg上回る8,804kg/a、八重山では1,884kg上回る8,238kg/10aとなった。一方、甘蔗糖度は、宮古で15.4%、八重山で14.6%と高糖年であった前年度を0.5～0.8度下回ったものの比較的高糖度となった。沖縄県全体では、原料茎の生産量は

879,657t で、前年度に比べて 0.3%減にとどまった。甘蔗糖度の県平均は 15.0%で、前年を 0.3 度下回った。この結果、分蜜糖の製糖歩留まりは 12.5 と 0.5 ポイント低下し、分蜜糖の生産量は前年より 6.0%減少し、101,056t となった。先島地域での生産の多いの含蜜糖の生産量は 9,717t と前年よりも 20.1%増加した。

(九州沖縄農業研究センター バイオマス・資源作物開発チーム (さとうきび育種ユニット) 寺内方克)

2009 / 2010 年期の沖縄、鹿児島両県のさとうきび生産実績

県別	年次	農家戸数 (戸)	収穫面積 (ha)	10a 当たり 収量 (kg)	収穫量 (ton)	甘蔗糖度 (%)	産糖量* (ton)	歩留り** (%)
鹿児島	09/10	9,337	10,282	6,171	634,451	13.8	75,256	13.83
	対前年比	100.9	105.3	84.3	88.7	95.8	114.3	96.0
沖縄	09/10	17,249	12,747	6,901	879,657	15.0	110,773	12.45
	対前年比	99.1	102.7	97.1	114.5	98.0	95.9	96.0
両県合計	09/10	27,025	22,037	657.5	1,514,108	-	186,029	-
	対前年比	97.2	101.4	91.3	114.5	-	91.2	-

* : 含蜜糖を含む生産量

** : 分蜜糖のみの歩留り

平成 21/22 年期 さとうきび及び甘しゃ糖生産実績 (鹿児島県, 沖縄県) より抜粋, 編集。